

臨床検査専門科目	生体機能検査学					
		1単位	演習	平成30年度	前期	2年次
臨床検査学科	必修					
科目名	生体機能検査学各論 I (呼吸) Clinical Physiology (Respiratory)					
担当教員	堀江修					
目的	生体機能検査のなかで一般的な呼吸検査である肺機能検査（スパイロメトリ），その他の呼吸器系機能検査および評価などについて正しく理解する。また，動脈血ガス分析，パルスオキシメトリ，熱画像検査，代表的な睡眠障害などについて，その検査方法，評価についても学ぶ。					
目標	さまざまな医学情報を参照しながら呼吸器系臓器について理解する。主要な呼吸器系機能検査の健常例，疾患例について説明できる。血液の酸塩基平衡，睡眠呼吸障害検査についても理解する。					
他科目との関連	生体機能検査学総論，生体機能検査学各論（循環，神経，画像）					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験成績				1
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	最新臨床検査学講座 生理機能検査学（医歯薬出版）					
参考資料	標準臨床検査学 生理検査学・画像検査学（医学書院），臨床病態学1（ヌーベルヒロカワ					
備考 (受講上注意, 事前学習等)	事前に連絡するが、学外講師に依頼する可能性も残しており、その場合都合により、適宜順番・日程を入れ替える。					